

「日本経営診断学会第52回全国大会」報告希望者募集について(お知らせ)

2019年度の日本経営診断学会第52回全国大会は、「経営診断における価値共創の視点」を統一論題として、2019年9月27日(金)～9月29日(日)の日程で、高千穂大学杉並キャンパス(東京都杉並区)にて開催することになりました。ご報告を希望される会員は、下記の要領にしたがってお申込み下さい。

1. 開催日程

9月27日(金)	午後	各種委員会、理事会 ※学会本部がある明治大学での開催を予定
9月28日(土)	午前 午後	自由論題報告、大学院生報告、診断事例報告 特別講演、統一論題報告、会員総会、学会賞表彰式、大学院生報告優秀賞表彰式、診断事例報告表彰式、懇親会
9月29日(日)	午前 午後	自由論題報告 自由論題報告、共同プロジェクト研究報告

※1 報告者数、講演者の都合等により一部日程に変更が生じる場合があります。

※2 都内には多くの宿泊施設がございますが、イベント等が重なりますと予約が取りにくくなることもございます。ご宿泊を希望される方は早めに宿泊予約をお取りください。

2. 報告申込み

- (1)学会ホームページ内の第52回全国大会のページより報告申込書をダウンロードし、E-mailの添付ファイルにて大会実行委員会宛(jmda2019@gmail.com)までお送りください。その際、件名に「報告申込書送付」と明記していただくと大変助かります。
- (2)報告申込みの期限は、5月15日(水)とします。この締切日以降の申し込みは受け付けられません。報告希望者が多数の場合、報告できない場合があります。また、統一論題報告については統一論題に関わるご報告をお願いします。統一論題報告希望者が多数の場合は、自由論題でのご報告をお願いすることもありますので、予めご了承下さい。
- (3)報告申込み受付後、大会実行委員会から申込み受付の連絡をいたします。5月17日(金)までに返信がない場合は、お手数ですが大会実行委員会までお問い合わせ下さい。
- (4)報告内容は未発表のものに限ります。また『日本経営診断学会論集』への寄稿を予定されている方は、論題の選択にご注意ください。
- (5)原則として、報告者は全員、本学会会員の方とします。
- (6)原則として、全国大会で報告する前に各自が所属する部会等で報告することが義務付けられています。この要件につきまして、ご不明な点がございましたら、ご所属の部会にお問い合わせください。

3. 報告者の決定から予稿集原稿の提出まで

- (1)5月22日(水)までに報告者の決定に関する連絡および予稿集原稿作成依頼をE-mailにてご連絡致します。予稿集原稿の作成依頼から提出締切日まであまり時間がありませんので、報告希望者はあらかじめ予稿集原稿のご準備をお願いします。
- (2)予稿集原稿につきましては、学会ホームページより「論文テンプレート」をダウンロードし、これに基づいて執筆して下さい。ただし、紙幅は4ページとします。また、テンプレートの最後にある英文タイトル、著者名、所属、メールアドレス、英語でのAbstract, Key wordは記載する必要はありません。予稿集は打ち出し原稿をそのまま印刷しますので、論文テンプレートに従って丁寧に作成して下さい。
- (3)予稿集原稿の提出は、E-mailの添付ファイルでお送りください(WordまたはPDFファイル)。提出期限は7月10日(水)です。大会実行委員会への予稿集原稿の提出をもって、正式に報告申込みの受理となりますので、期日は厳守して下さい。期日までに予稿集原稿が到着しない場合には、報告は取消しといたします。

4. 大学院生報告優秀賞表彰の審査を希望される方へ

- (1)大学院生報告優秀賞表彰の審査を希望される場合は、報告申込書の審査希望欄にその旨を明記し、上記の要領に従って報告申込書および予稿集原稿（事前審査用論文となります）の提出を行ってください。
- (2)大学院生報告の優秀賞表彰は3つの申請区分（「一般院生部門」、「留学生部門」、「社会人院生部門」）を設けていますので、申込時に該当区分を明記してください。
- (3)大学院生報告優秀賞表彰は、論文審査（事前審査）と発表審査（当日審査）の2段階で行われます。まず、論文審査で表彰候補者を絞り、その候補者のみに対して発表審査を実施いたします。発表審査対象者の公表はいたしません。また、大学院生報告優秀賞表彰式へ参加することも受賞の必須条件となりますのでご注意ください。以下に論文審査と発表審査の評価項目を示しますので、ご参照ください。

【論文審査（事前審査）評価項目】

評価項目	項目内容
独自性	A 研究内容の新規性、B 研究成果・知見の明確性、C 新領域開拓の期待性
論理性	A 誤字、脱字の状況、B 先行研究の渉猟性、C 精深かつ体系的知識性など
形式性	A 起承転結・三段論法など論文形式、B 現状分析・課題認識・改善策などの明確性、普遍的命題から個別的事例の命題を検討する演繹法、個別事例から法則性を見出す帰納法などの論文構成、C 文献・雑誌・統計資料の引用や明示の文献妥当性など

【発表審査（当日審査）評価項目】

評価項目	項目内容
説得性	A 時間配分・テンポの適切性、B 言葉の明確性、C 報告資料の作成・利用状況など
整合性	A 主題と結論の整合性、B 主題と章・節の整合性、C 発表内容が歴史研究・理論研究・実証研究・事例研究の中のどれと整合性が取れているかなど

5. その他

- (1)大会プログラム等は8月上旬に発送を予定しています。

【報告申込および予稿集原稿に関するお問い合わせ先】

日本経営診断学会第52回全国大会実行委員会委員長 庄司真人（高千穂大学）

電話 03(3317)4077（内 2411） Fax 03(3313)9034（庄司研究室宛）

E-mail: jmda2019@gmail.com

お問い合わせはE-mailやFAX等を通じて書面で頂けますようお願い申し上げます。